

# 新たな子育て支援制度の概要

平成24年10月 こども子育て支援課

【新しい制度で目指すこと】

## ■ 質の高い幼児期の学校教育・保育を総合的に提供できる仕組みの創設

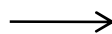
★ 認定こども園(幼保連携型)について、単一の施設として認可・指導監督等を一本化



認定こども園の普及促進

※現状等

認定こども園のうち、  
保育所部分、幼稚園部分それぞれ  
について、県の認可が必要



認定こども園(幼保連携型)は、単一の  
施設として、県(中核市)が認可

【認定こども園の認定状況】 (H24. 4. 1現在)

	認定 件数	内訳			
		幼保連携型	幼稚園型	保育所型	地方裁量型
大分県	23	2	15	5	1
全国	911	486	273	122	30

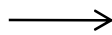
★ 認定こども園、幼稚園、保育所を通じた  
共通の給付の創設



施設共通の  
財政支援

※現状等

- ・私学助成(私立幼稚園)
- ・就園奨励費(私立幼稚園)
- ・保育所運営費(私立保育所)
- ・安心こども基金(認定こども園)



- ・施設型給付  
(認定こども園、幼稚園、保育所)
- ・利用者負担金(応能負担)

・利用者負担金(幼稚園は園が定め  
る保育料、保育所は応能負担)

※私立保育所については、市町村  
から委託費として支払う。

★ 教育・保育等に携わる職員の体制強化  
(認定こども園、幼稚園、保育所、放課後児童クラブ等)



教育・保育の  
質の向上

※保育等の質の改善のために、約3,000億円を充てるとされている。

★ 市町村に窓口を一本化(国も内閣府に一本化)



二重行政の解消

※現状等

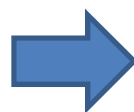
私立幼稚園 = 県  
私立保育園 = 市町村



市町村に窓口を一本化  
(市町村は、地域のニーズに基づき  
計画を策定、給付等を実施)

## ■都市部を中心とした待機児童の解消

- ★ 一定の基準を満たせば、認可する仕組み  
(認定こども園・保育所のほか、小規模保育や保育ママ  
など多様な保育の充実)



質を確保しつつ、  
量を拡大

- ★ 地域ニーズを踏まえ、市町村が計画的に整備(ニーズ調査と計画策定)

※保育等の量の拡充のために、約4,000億円を充てるとされている。

※現状等

待機児童数の推移

(単位:人)

	20年度		21年度		22年度		23年度		24年度
	4/1	10/1	4/1	10/1	4/1	10/1	4/1	10/1	4/1
大分市	1	56	3	23	12	20	22	106	45
大分市以外	0	0	0	47	0	44	2	43	9
計	1	56	3	70	12	64	24	149	54

## ■子どもの減少地域の保育・子育て支援を支援

- ★ 子どもが減り続けている地域にあっても、市町村が地域の状況を踏まえ、小規模保育(6人~19人)や保育ママ(5人以下)等を活用して保育・子育て支援を提供

## ■すべての子育て家庭に対する支援

- ★ 親子で相談や交流などができる地域の拠点に対する支援の充実

※現状等

地域子育て支援拠点設置数

(H24.9月現在)

大分市	12	津久見市	1	由布市	3
別府市	6	竹田市	1	国東市	4
中津市	4	豊後高田市	1	姫島村	1
日田市	3	杵築市	3	日出町	3
佐伯市	7	宇佐市	7	九重町	0
臼杵市	4	豊後大野市	5	玖珠町	1
				計	66

目標:平成26年度末までに71か所

## 【施行時期】

本格施行の時期については、実際の消費税率引上げ時期を踏まえて検討。(最速で平成27年4月1日を想定)